

東京都

スポーツ団体ガバナンスコード<一般スポーツ団体向け>に係るセルフチェックシート

[団体名：一般社団法人武蔵村山市体育協会]

[記載日： 令和6年10月1日]

【対応状況に係る自己評価】

A：対応している

B：一部対応している

C：対応できていない

項目	対応状況
原則1 法令等に基づき適切な団体運営及び事業運営を行うべきである。	
(1) 法人格を有する団体は、団体に適用される法令を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) 一般財団法人に関する法律を順守し、団体の定款に従い、運営及び事業を実施している。	
(2) 法人格を有しない団体は、団体としての実体を備え、団体の規約等を遵守しているか。	—
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等)	
(3) 事業運営にあたって適用される法令等を遵守しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・大会やイベント、講習会等を行う際には、当該施設の使用に係る規則や、当該施設を所管する地方公共団体が定める安全管理に関する条例等を遵守している。 ・個人情報保護法及び団体の個人情報取り扱い規程を遵守し、個人情報の取り扱いについては十分留意して管理している。	
(4) 適切な団体運営及び事業運営を確保するための役員等の体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況、今後改善に取り組む事項等) ・会長1名、副会長1名、専務理事1名、常務理事3名、事務局長1名(理事兼務)で原則毎月第1火曜日に常任理事会を実施し理事会への報告、審議事項等の検討・準備を行っている。 ・会長1名、副会長1名、専務理事1名、常務理事3名、事務局長1名、理事18名で原則毎月第3火曜日に理事会を実施し社員総会において付議する決算や事	

<p>業報告等、その他団体の事業運営及び業務執行に関する決定を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回会報を発行し、各団体の運営状況等を団体の構成員に報告している。 	
原則 2 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表すべきである。	
(1) 組織運営に関する目指すべき基本方針を策定し公表しているか。	C
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現時点では策定していないため、今後策定に向けて検討していく。 	
原則 3 暴力行為の根絶等に向けたコンプライアンス意識の徹底を図るべきである。	
(1) 役職員に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は近隣5市合同による役員、加盟団体の指導者等を対象に、スポーツ団体ガバナンスコードについての研修を実施した。なお、来年度以降合同での研修会が実施できない場合でも年1回は団体単独で実施する。 ・東京都、東京都スポーツ協会等が開催する研修会等への参加を促して行く。 	
(2) 指導者, 競技者等に対し, コンプライアンス教育を実施しているか, 又はコンプライアンスに関する研修等への参加を促しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <p>上記と同じ</p>	
原則 4 公正かつ適切な会計処理を行うべきである。	
(1) 財務・経理の処理を適切に行い, 公正な会計原則を遵守しているか。	A
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体の会計処理が適切に行われるよう、団体の定款に必要な事項を定め処理している。 ・具体的な会計処理については法人設立以降税理士及び行政の指導を受け処理している。 	
(2) 国庫補助金等の利用に関し, 適正な使用のために求められる法令, ガイドライン等を遵守しているか。	B
<p>(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(公財)東京都スポーツ協会の分担金を受けていたが不適切な会計処理が発覚したことから、今後は、(公財)東京都スポーツ協会に提出した再発防止策及び当該分担金に関する実施要項や事務の手引き等に従い、適正に会計処理を行う。 	

(3) 会計処理を公正かつ適切に行うための実施体制を整備しているか。	A
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・団体の定款に基づき、監事による監査を行うとともに、定時社員総会において前年度の会計に関する計算書類の承認を受けている。	
原則 5 法令に基づく情報開示を適切に行うとともに、組織運営に係る情報を積極的に開示することにより、組織運営の透明性の確保を図るべきである。	
(1) 法令に基づく情報開示を適切に行っているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・現時点では、団体のホームページに組織運営に係る情報は開示しているが組織概要(定款・規約・倫理規定・組織図)を公表していないため、早い時期に情報開示を行う。	
(2) 組織運営に係る情報の積極的な開示を行っているか。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・現時点では、団体のホームページには公表していないが、令和6年度中にスポーツ団体ガバナンスコードの遵守状況(セルフチェックシートの記入内容)を公開する。	
原則 6 高いレベルのガバナンスの確保が求められると自ら判断する場合、ガバナンスコード<NF 向け>の個別の規定についても、その遵守状況について自己説明及び公表を行うべきである。	
自らに適用することが必要と考えるガバナンスコード<NF 向け>の規定があるか (ある場合は下欄に記述)	
原則 4 について コンプライアンス委員会を設置すべきである。	C
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・役員を構成員としたコンプライアンス委員会の設置を検討していく。	
原則 6 について 法律、税務、会計等の専門家のサポート体制を構築すべきである。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・法人設立以降税理士及び行政の指導を受け処理しているが、今後、予算上の関係もあるが定期的なサポートが受けらるよう検討していく。	

原則 9 について 通報制度を構築すべきである。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・現時点ではホームページからの問い合わせ窓口のみ設置している。今後通報窓口の設置を検討していく。	
原則 10 について 懲罰制度を構築すべきである。	B
(現在の取組状況, 今後改善に取り組む事項等) ・現時点では団体の定款の中で懲罰規定はあるが、今後は具体的な懲罰制度を検討していく。	